



令和8年度、新たな大淵中のはじまりです!!

春の訪れとともに、新年度がスタートしました。本年度も、「頂」を目指して、生徒、教職員一同、約350人で一致団結して大淵中学校を盛り上げていきたいと思っています。

先日行われた始業式、入学式では、どの生徒の顔も決意と希望に満ち溢れていました。この始まりの想いを、日々の教育活動の積み重ねで大きな成長に繋げ、今年1年を有意義に過ごしていきたいと思っています。そのために教職員一同、努力を惜しまない決意でいます。保護者の皆様また、地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

令和8年度入学式 校長式辞 ～一部抜粋～

本校の生徒としてスタートラインに立つ皆さんに、三つのお願いをしたいと思います。

一つ目は、本校の学校教育目標「自分から、自分たちへ」をいつも心におき、失敗を恐れず挑戦し続けてほしいということです。「自分から」は正に、自分で考え、進んで行動することです。まずは、「自分から挨拶する」「ごみを見つけたらそっと拾う」「仲間が困っていたら、声を掛ける」など小さなことから始めてみましょう。自分で考えて行動すると初めは孤独かもしれません。でも、自分から行動することを続けていくうちに、それが仲間を巻き込む大きな力となります。その力は、もっと大きな課題を解決する強いうねりになり、乗り越えられないと思った壁を飛び越え更に高い目標を達成できるように進化します。ですから、ぜひ「手伝って」や「一緒にやろう」と声をかけ、自分から行動する仲間を増やしてください。

二つ目は、本校の重点目標である「受心と発心」を常に心に留めて行動するという事です。受心とは「受ける心」、発心とは「発する心」と書き、「相手の思いを心から受け止め、心を込めて自分の考えを伝える」という意味をもっています。相手の本当の思いや願いを理解しようとして聴き、自分の気持ちや考えを言葉にし、それを伝えることを大切にしてください。さらに、そうしたことが自然にできる身体を作りましょう。

三つ目は、「仲間の良さをたくさん見つける」ことです。皆さんは、誰もが、自分自身でも気付いていない良さをもっています。そして、それに気付くことで、さらに自信が生まれ様々な挑戦ができるようになります。ただ、自分の良さは自分ではなかなか気づきません。他の誰かから教えられて分かることの方が多くあります。ですから、まず仲間の良さをたくさん見つけてください。そしてそれをその都度伝えてください。こうした関係を築くことで、自分だけではなく、学校全体に自信の輪が広がり、困難な状況にも、自分たちで立ち向かっていける力が生まれると思います。

勇気をもって「自分から」行動し、「受心と発心」を心掛け、仲間と自分の良さを発見しようと邁進する皆さんを、私たち教職員は、しっかりと支え、私たち自身も皆さんと共に挑戦していきます。



